

各関係機関の長 殿

山口大学大学院医学系研究科長  
篠田 晃  
(公印省略)

病態検査学講座（生体情報検査学）教授の募集について（依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、病態検査学講座（生体情報検査学）教授を募集することになりました。

つきましては、ご多忙中のところ恐縮に存じますが、貴機関又は関係機関にご周知いただくとともに、適任者がおられましたらご推薦くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 採用職名及び人員 教授1名

2. 応募資格

- (1) 山口大学における教育・研究に情熱をもって取り組める方
- (2) 医師免許あるいは臨床検査技師免許を有すること
- (3) 博士の学位を有すること
- (4) 担当分野の実務経験と教育研究業績を有すること
- (5) 下記担当科目（学部・博士前期課程・博士後期課程）の教育を担当できること
- (6) 臨床検査技師の場合は超音波検査士を有することが望ましい

3. 担当科目

(1) 学部

専門科目：形態機能学Ⅲ、循環機能検査学、呼吸機能検査学、画像検査学、機能検査学実習、画像検査学実習、機能検査学病院実習、生理機能学Ⅰ、生理機能学Ⅱ、臨床医学、臨床検査学実習、科学論文演習、検査技術科学卒業研究

共通教育科目：社会と医療

(2) 博士前期課程

機能情報解析学特論、機能情報解析学演習、性差医療学特論、特別研究

(3) 博士後期課程

病態情報解析学特講、病態情報解析学演習、特別研究

(4) その他

上記以外にも共通教育や臨床検査技術科学関連科目を担当していただくことがあります。

4. 採用予定日 令和6年4月1日

## 5. 提出書類

- |                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| (1) 履歴書（指定様式 右肩に写真を貼付）                | 1部  |
| (2) 教育・研究業績（指定様式）                     | 1部  |
| (3) 論文別刷あるいはそのコピー（主要論文5～10編）          | 各7部 |
| (4) 医師免許証あるいは臨床検査技師免許の写し              | 1部  |
| (5) 応募資格（6）に関わる資格証の写し                 | 1部  |
| (6) これまでの研究活動の概略と今後の研究の抱負（1500字以内）    | 1部  |
| (7) 教育および大学運営に対する今後の抱負（1500字以内）       | 1部  |
| (8) 推薦状（未開封のもの）                       | 1通  |
| (9) その他（連絡先と連絡方法についてお書きください。書式は自由です。） | 1部  |

6. 締切日 令和5年11月17日（金）17時 必着

## 7. 応募書類送付先

〒755-8505 山口県宇部市南小串1丁目1番1号  
山口大学医学部総務課人事係

## 8. 問い合わせ先

山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻病態検査学講座  
教授 山本 健  
TEL：0836-22-2834 FAX：0836-22-2130(事務室)  
E-mail：kenyama@yamaguchi-u.ac.jp

## 9. その他

- (1) 応募は原則として郵便（書留）とし、「病態検査学講座教授応募書類在中」と朱記のこと
- (2) 選考の過程で、ご来学いただき、面接、公開セミナー等を実施することがありますので、ご承知おき願います。
- (3) 給与等雇用条件は本学の規定によります。年俸制を適用します。
- (4) 応募書類は返却いたしません。応募書類により取得する個人情報、採用者の選考および任用の手続きに利用するものであり、この目的以外で利用および提供することはありません。
- (5) 公募情報は、以下に掲載しております。  
山口大学ホームページ  
(<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/company/recruitment-teachers/index.html>)  
山口大学医学部ホームページ (<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/med/index.html>)  
大学病院医療情報ネットワーク (UMIN)  
研究者人材データベース (JREC-IN)
- (6) 山口大学では男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。
- (7) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行なっており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。